

人 口	1,657(-3)
男 性	838(-2)
女 性	819(-1)
世帯数	824(+6)

令和 5年 3月末時点

高原の風

～不用品をあげる・もらうご縁の輪～

クルクル回る伝言板 スタートしました！

クルクル伝言板とは・・・

不用品を欲しい人にあげるための掲示板です。
「まだ使えるけど、家に眠ってるままのもの」
「せっかくだから誰かにまた使ってもらいたいもの」
などなど
不用になったものは誰かが欲しがっているものかもしれ
ません。掲示板を介して、そんな不用品を紹介して
みませんか？



掲示板にある情報をもとに、あげたい人・欲しい人
で連絡を取り合い、品物の取引をしてもらいます。
あげる、もらうのやり取りの中でちょっとした知り
合いが増えるきっかけになるかも。
詳しい内容や使い方は、飯田公民館に設置してある
クルクル掲示板でご案内しています。

サークル飯田クルクル部会より

読み聞かせボランティア



参加してみませんか？



毎月第3金曜日 午前8：30より15分程度の時間
で飯田小学校の各学年に絵本の読み聞かせをボラ
ンティアの方々で行っています。

(学校都合で変更になることもあります。)
子どもたちと一緒に、絵本の素敵な世界を共有
してみませんか？

経験がなくても大丈夫です！
興味のある方はぜひお問い合わせください！

問い合わせ先：飯田公民館 (TEL 0973-79-2251)

(高齢者向け事業)

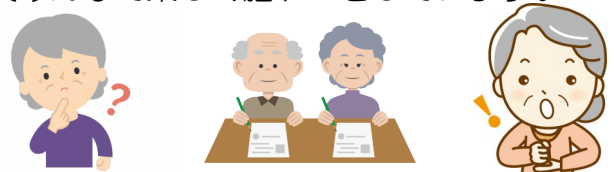
脳いきいきサロン 会員募集！！

～脳トレで、認知機能の低下を防ぎましょう！～

場 所： 飯田公民館 小会議室
日 時： 毎月第3木曜日
14：30～16：00
対 象： 65歳以上の方

計算・漢字・まちがい探しなどなど、様々な問
題に挑戦して、脳に刺激を送りましょう！

会員みんなで楽しく脳トレをしています♪



九重町役場住民課より

～証明発行業務終了のお知らせ～

平成31年よりご利用いただきました飯田ふれあい交流センター（飯
田公民館）での証明発行業務につきまして、利用者数の低調に伴い、**令
和5年3月28日**で終了いたしました。

これまでご利用いただきました皆様に心より感謝申し上げます。
今後は、役場住民課窓口をご利用くださいますようお願いいたします。

【お問い合わせ】 九重町役場住民課 Tel 76-3802

こんにちは **飯田まち協** です

長者原のことども

飯田高原には、大石原、おとが原、みの原、**長者原**、中の原、八丁原、地藏原等のたくさんの草原があるが、中でも**長者原**は高原の中心地を始めて、その広さと言わず、美しさと言わず、植物の種類の多い点と言わず、全ての点で他の草原より秀れており、先ず第一級の草原と言わなければならない。（中略）**長者原**というのは、そうした名称の内では最も新しいもので、言うならば総括的な名前である。

現在国民宿舎や国立公園管理事務所のある**長者原**集団施設地附近より、南は湯沢の山麓から東は黒川（くろごう）の線にそって鳴子（なるこ）に曲り、西は奥郷川の線にそって千歳川に曲り、北は部落と草原を境とする、一千数百 ha の広さに及ぶ火山溶岩の流れで出来た三角形の草原を総称して**長者原**というのである。

長者原という名称はどのように出来たかという、こうである。

～ 長者原の地名 ～

大正十四年の夏、別府亀の井バス会社の社長油屋熊八氏が、マツノデーに大テントホテルを開業したことがある。そのとき朝日長者伝説に因んで、そこを**長者ヶ原**（ちょうじゃがはら）と命名した。（中略）

しかしこうして生まれた**長者ヶ原**の名称も、何年か経つ内にいつしか**長者原**（ちょうじゃばら）と変わってしまった。（中略）

町役場の土地台帳をみても、飯田高原とか**長者原**とかの地名はない。ここに言う**長者原**は、大字は田野の一部で、小字は上野（うわの）、下野（したの）、中村下野（なかむらしたの）、馬子草（まごそう）、鳴子（なるこ）などがほとんど全部含まれており、周辺は湯沢（ゆざわ）、蔵原（わらびわら）、楮原（かごわら）、二俣木（ふたまたぎ）、深内石（しんねいし）、吉部（よしぶ）等は一部含まれている。

〔『飯田高原の風物詩』赤峰武より〕

住民型支え合い団体の立ち上げに向けて準備が進む

「住民型支え合い団体」とは、**高齢者や障害のある方、子育て世代の方**等が抱える日常生活における「ちょっとした困りごと」を「**おたがいさま**」の精神で、地域の方々が相互に連携し、役割を担い合いながら、その解決を図ることを目的とした組織（仕組み）です。

さらに、その活動を通して、誰もが安心して住み続けられる**支え合いの地域づくり**を目指すものです。

これまで飯田地区では、平成30年度に竹田市のくらすポ「久住りんどう」を視察し準備を進めていましたが、コロナ禍でやむなく中断。このほど、支え合いセミナーや座談会が開催され、準備委員会が設立に向けて動き出しました。まち協も支援していきたいと思ひます。

困った時はお互いさま・・・『飯田で暮らすことが幸せ』そんな「**まち**」をみんなで作っていきましょう！

日本人が忘れかけている季節を表す言葉 その③ 和風月名（わふうげつめい）

- 睦月・如月・弥生・**卯月**・皐月・水無月・文月・葉月・長月・神無月・霜月・師走

卯の花が咲く頃という意味である「卯月」。「卯の花」はユキノシタ科の落葉低木・ウツギの花で、唱歌「夏は来ぬ」でも歌われる**初夏**を感じさせる花です。

ただ、この時期は「**花冷え**」とも言われるようにまだまだ夜の空気は冷たく、実際の気候は**春の始まり**。しかし、**桜前線**が北上するにつれて多くの花が咲き誇り、月末には行楽シーズンへ突入します。

4月には花見以外にも野山へ出かけ神様を迎える風習があります。神様を田に招き、今年のお稲の成長をお祈りします。

かつては農事や漁撈（ぎょろう）が忙しくなる前に、**山**や**海**にごちそうを持って遊びに行く風習があった。その日は、村人全員で物忌みの日と決め、仕事をしてはならなかったという。**山**には神様や先祖の霊が住んでいるとされ、農事の前に宴を開くのは**山**から神様を迎えるため、**磯**に出かけるのは豊かな幸を与えてくれる**海**の神に感謝し、ともに食事をするためだったとされる。人々は**山**では**野草や花**、**海**では**貝や海藻**をとって楽しんだ。これらは遠足や花見、潮干狩りの起源とも考えられている。

令和5年 4月30日（日）は、**図書館記念日** です。

日本図書館協会が1971年（昭和46年）に制定。この日付は『図書館法』公布の日。